

臨床教育看護師育成プログラム

I. 臨床教育看護師育成プログラムの目的

臨床教育看護師に期待する能力を強化する。

II. 臨床教育看護師に期待する能力

1. 看護観・倫理観・専門的知識に基づいて的確に判断し、熟練した看護技術を提供する。
2. 教育的視点を持って看護師や看護学生とかわる。
3. 看護実践を通して役割モデルを看護師や看護学生に示し、看護の魅力を伝える。

III. 育成プログラム

1. 自身の看護実践の質向上のために、臨床判断力を強化するためのプログラム

到達目標 1 自己の実践を分析し、人間観、健康観、環境観、看護観の概念化する。		
単元	学習課題	学習内容並びに方法
第1・2回	看護過程と看護診断から自己の実践を振り返る。	1. 講義: 看護過程と看護診断
第3回 ～ 第5回	実践における看護理論の活用について考える。	1. 講義: 看護理論とは 2. 個人ワーク/発表/対話 自身が検討したい看護実践場面の事例を、看護理論を用いて記述し、対話によって、実践における看護理論の活用について考える。
第6回 ～ 第8回	事例をもとに、各自が看護の何を大切にしているかを、対話を通して分析する。	1. 個人ワーク/発表/対話 2. テーマ「看護実践においてわたしが大切にしていること」を記述し、各自の大切にしている部分を分析し、なぜ、大切にしているのか、それは看護実践においてどういう意味あるいは価値をもつのか、対話を通して、それぞれの認知フレームを変更していく。そのプロセスで、各自が、その大切にしている部分の根底にある、自身の人間観、健康観、環境観、看護観を見出し、それを概念化し、レポートを作成する。

到達目標 2 看護実践場面を振り返りながら、看護の意味や価値を見出し、次の看護実践につなげる方法を習得する。		
単元	学習課題	学習内容並びに方法
第1回	倫理的思考・批判的思考について理解する。	1. 講義: 倫理的思考・批判的思考について
第2回 ～ 第6回	倫理的思考、批判的思考について、リフレクションによる事例検討を通して学ぶ。	1. 個人ワーク/発表/対話 倫理的問題のある事例を記述し、対話によって倫理的思考、批判的思考について理解を深める。
第7回	看護の質とは何かを検討する。	1. 講義: 看護の質 2. 対話: テーマ「看護師のしていることは全て看護か」
第8回 ～ 第10回	看護師のキャリア開発を支援するために、「経験から学ぶ」方法を学ぶ。	1. 個人ワーク/発表/対話 自身が検討したい看護実践の場面の事例を記述し、対話によって、実践の積み重ねの中から、経験が活かされたことを考える。また、自分にとって「一皮むける経験・トランジション・サイクル」からキャリア開発支援について理解を深める。
特別講義	看護の専門性について、看護技術から考える。	1. 講義・演習: フィジカルアセスメント・臨床推論

2. 部署全体の看護の質向上に向けて、部署の看護師の学びをサポートする力を強化するためのプログラム

到達目標 1: 成人の学びとは、成人の学びをサポートするとは何か、職場における看護師の学びのサポート体制とは何か、理解する。		
単元	学習課題	学習内容並びに方法
第1回 第2回	リフレクション・対話について理解する。	1. 講義:よりよい看護実践をサポートするために要請される「リフレクション」「対話」とは何か
第3回 ～ 第5回	成人教育・経験学習について理解する。 教育評価について理解する。 対象者理解、対象者の立場に立ったサポートについて理解する。	1. 講義:成人教育・経験学習・教育評価について 2. 個人ワーク/発表/対話 自身と他者(看護師)との関わりの中で「伝えたいことが伝わらなかった」と思う場面を、プロセスレコードに記述し、対話によって自分の傾向、対象者を理解すること、対象者の立場に沿ったサポートとは何か理解を深める。
特別講義	講義の展開方法、効果的な発問、教材開発について理解する。	1. 新人看護職職員研修「多重課題」研修を見学し、講義の展開を学ぶ

到達目標 2 部署の看護師の学びをサポートするという視点で、自部署の看護の質向上のための計画を立案する。		
単元	学習課題	学習内容並びに方法
第1回 ～ 第5回	看護師の学びをサポートするという視点で、シミュレーション研修時のファシリテーションについて理解する。 デブリーフィング中のデブリーファアの役割について理解する。	1. 新人看護職職員研修「複数患者への対応の」シミュレーション研修を見学し、ファシリテーターに必要なスキルを学ぶ。 2. シミュレーション教育におけるブリーフィング、デブリーフィングについて理解を深める。 3. 研修見学後 人材育成においてファシリテーターの役割は何か、どのような関りが方が求められるのか考え、発表する。
第6回 ～ 第13回	部署の看護師の学びをサポートするという視点で、自部署の看護の質向上のための課題を明確にする。	1. 個人ワーク/グループワーク 自部署の看護の質について考え、自部署紹介する。 部署の看護師の学びをサポートする視点で、部署全体の看護の質向上のための課題を明確にする。 2. 発表/対話 それぞれの分析により抽出された課題を、対話を通して洗練させ、あるべき姿を導き出す。

【評価方法】

1 年間のプログラム出席状況、学習への参加状況、レポート課題、リフレクション、部署の課題報告を総合的に判断する。
評価基準に従いプレ臨床教育看護師として認定する。

【資格認定】

1 年間プレ臨床教育看護師として、部署の教育的課題に取り組み、その活動プロセスを、評価基準に従い審査する。
合格者には滋賀医科大学学長より臨床教育看護師資格認定証が交付される。

◇ 臨床教育看護師とは:看護の質向上のために、看護師と看護学生に教育的にかかわる臨床の看護教育者である。
滋賀医科大学独自の認定資格である。